

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス そよかぜ

### 支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念		1.障害児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよ、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 2.事業の実施に当たっては、関係市町、他の指定障害福祉サービス事業所その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的サービスの提供に努めるものとする。								
支援方針		利用児童及び保護者の意向を考慮して利用児童の特性やその他の事情を踏まえた対応をします。利用児童が楽しめる場所を作ります。利用児童の「強み」を見つけます。個別での療育、少人数のグループ活動での療育を行います。他の療育、保育、教育機関との協働を大切にします。地域との連携をします。								
営業時間		平日	9時	0分	から	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜日	8時	30分	から	12時	30分			
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態の把握(日常の健康観察、検温) ・健康の増進(少人数でのグループ活動、運動プログラム) ・基本的生活スキルの獲得(食事、衣類の着脱、排泄、整理整頓) ・構造化等による生活環境(分かりやすい時間、空間の構造化) ・自立支援と日常生活の充実のための活動(挨拶、基本的日常動作の訓練等)								
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上(サーキット、体感トレーニング、トランポリン、タオル引っ張り合い、ボルダリング、姿勢の保持) ・姿勢、運動・動作の補助的手段の活用(音楽に合わせて体を動かす遊びや運動、運動遊び、両足ジャンプ、楽器) ・身体移動の能力の向上(椅子取りゲーム、転がしドッチボール、果物ゲーム、フルーツバスケット) ・保有する感覚の総合的な活用(リズム体操、ボールプール、グーパー体操) ・感覚の特性(感覚過敏、鈍麻への対応、感覚の理解、環境整備感覚に特性がある児への配慮)								
	認知・行動	・感覚や認知の活用(パズル、知育玩具、バランスを使った遊び) ・知覚から行動への認知過程の発達(粘土、スライム、水遊び、楽器、ビジョントレーニング) 認知や行動へ手掛かりとなる概念の形成(ブロック遊び、ボール転がし) ・具体的な指示、手順書 ・時間に対する認知の形成(スケジュールボード、絵カード) ・空間把握に関する認知の形成(ブロック遊び、ビー玉転がし) ・数量、大小、色などの習得(知育玩具) ・マッチング、大小仲間分け、色形を答える(教材、学習プリント) ・認知への偏りへの対応 ・少人数での対応 ・適切な行動の形成 ・認知の偏りへの配慮(ルール遊び、SST) ・行動障害への予防及び対応(適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮、ルール遊び) ・保護者との共通理解 ・季節の変化への興味などの感情の形成(戸外活動、季節の散策)								
	言語コミュニケーション	・言語の活用と形成(絵本の読み聞かせ、お題キャッチボールで語彙、語想起の向上) ・受容言語と表出言語支援(個別の対応、気持ちの代弁) ・指差し、身振り、ジェスチャー等の活用(気持ちの表出、物の用途を伝えよう) ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(SST、個別療育、集団療育でコミュニケーションの向上、童謡) ・非言語コミュニケーションの活用(指差し、身振り、ジェスチャー、絵カード) ・読み書き能力の向上のための支援(教材による読み書き、宿題) ・言語に特性がある児への配慮(絵カード、タブレット、口の体操、まねっこパンダ)								
	人間関係社会性	・アタッチメントの形成(スキンシップ遊び) ・模倣行動への支援(役割遊び、ロールプレー、ビジョントレーニング) ・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援(見立て遊び、ごっこ遊び、グループ活動) ・ひとり遊びから協同遊びへの支援(鬼ごっこなどの役割がある遊び、ルールのある遊び) ・自己理解とコントロールのための支援(SST、集団活動で気持ちのコントロール) ・集団参加への支援・社会資源の活用(公共施設等での室内外活動、公園、図書館、苦手意識の軽減、分かりやすいルール説明、地域活動への参加)								
家族支援		・面談やLINE、連絡帳による日々のやり取りや必要に応じて電話連絡等で連携することにより家族の不安や心配事に寄り添い、解決方法を一緒に考える。				移行支援		・保護者に了解を取り、移行先と連携して本人の事業所での様子等を話し合う。		
地域支援・地域連携		・お子様の成長を見据え、関係機関で顔の見える連携が図れるようにしていく。				職員の質の向上		・キャリアアップ研修、専門研修への参加。 ・隔週のスタッフミーティングで、現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有する。		
主な行事等		・避難訓練(地震津波、火災、水害、消火訓練) ・親子参加等(いちご狩り、ひらめきパーク笠戸島、光消防署見学) ・河津桜 ・フラワーランドやない ・水遊び ・アデリーホシ☆多パーク ・クッキング(年2回) ・なぎさ水族館 ・ハロウィンパーティー ・クリスマスパーティー								